

# Ⅲ 南部地域・東部地域の振興

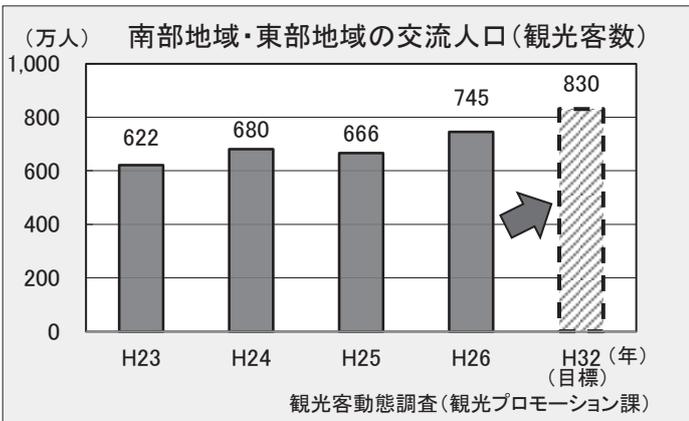
## 目指す姿

魅力的な観光資源づくりや、情報発信の強化、多様なイベントの開催、仕事の確保や医療・福祉、教育等の充実、災害への備え等を進め、南部地域・東部地域を「頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる」地域にします。

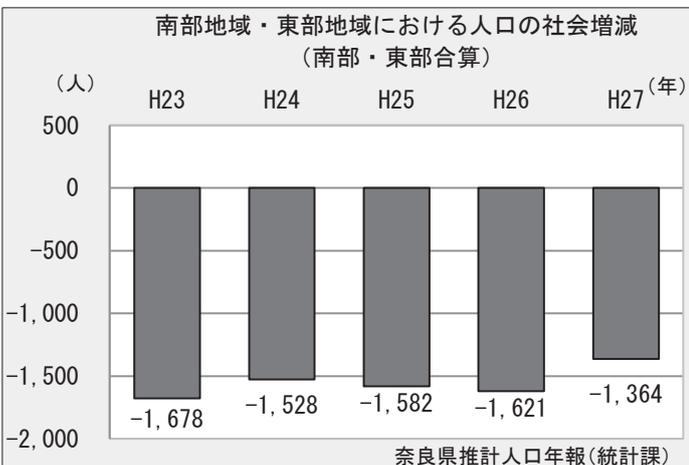
主担当部局(長)名  
南部東部振興監 山本 尚

関係部局(長)名:総務部長 一松 旬、危機管理監 長岡 雅美、地域振興部長 村田 崇、観光局長 辻本 浩司、健康福祉部長 土井 敏多、こども・女性局長 福西 清美、医療政策部長 林 修一郎、くらし創造部長 中 幸司、景観・環境局長 中 幸司、産業・雇用振興部長 森田 康文、農林部長 福谷 健夫、県土マネジメント部長 加藤 恒太郎、まちづくり推進局長 金剛 一智、水道局長 西川 浩至、教育長 吉田 育弘

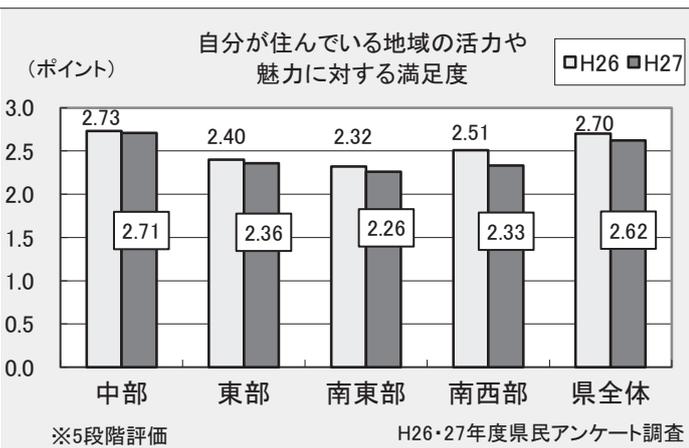
## 1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	南部地域・東部地域の交流人口(観光客数)を平成32年までに830万人にすることを目指します。(H25年:666万人)
取組	観光資源となる地域資源の発見・創出や情報の発信、また、訪れてもらうための地域の特色を活かしたイベント開催等に取り組みました。
成果	平成26年の南部地域・東部地域の交流人口(観光客数)は745万人と、平成25年より増加しました。

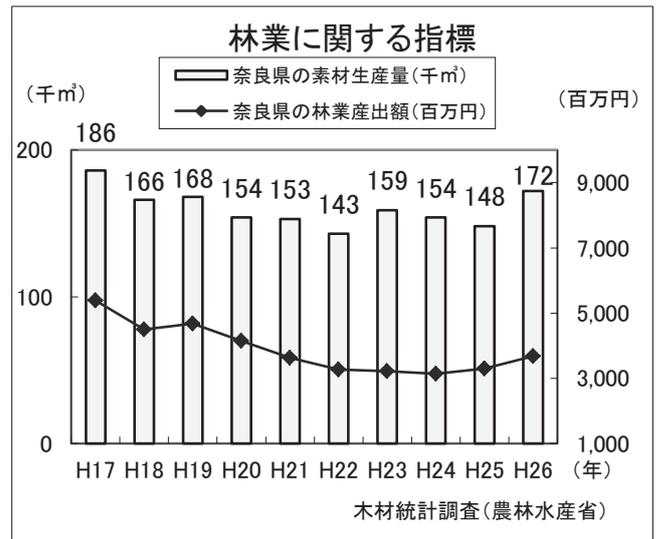


目標	南部地域・東部地域への二地域居住・移住を増加させ、人口の社会増を目指します。
取組	二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくりと拠点整備、また、移住者の働く場の確保に取り組みました。
成果	平成27年の南部地域・東部地域の人口の社会増減は1,364人減と、平成26年より減少数が減りました。



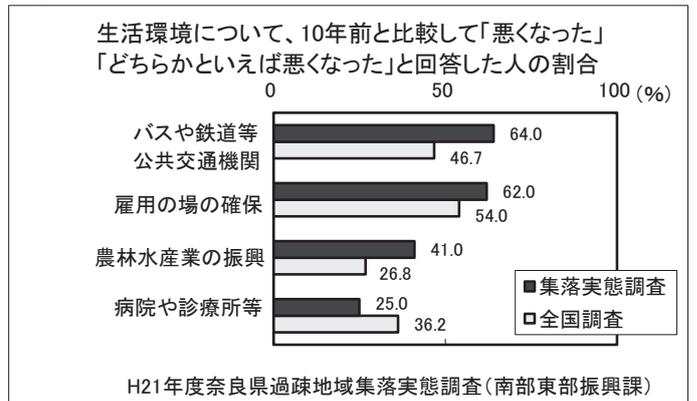
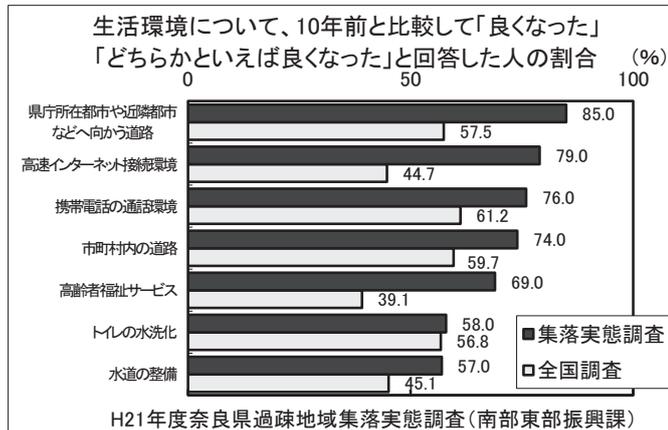
目標	自分の住んでいる地域の活力や魅力に対する満足度を高めます。(H26年度県民アンケート調査<5段階評価>南東部地域2.32、南西部地域2.51、東部地域2.40、県全体2.70)
取組	医療の充実、若者の雇用の場の創出、農林業等地域産業の振興及び通院・バス交通等の生活支援事業を実施しました。
成果	満足度は全体的に平成26年度をやや下回りました。(H27年度県民アンケート調査<5段階評価>中部2.71、東部2.36、南東部2.26、南西部2.33、県全体2.62)

## 2. 現状分析



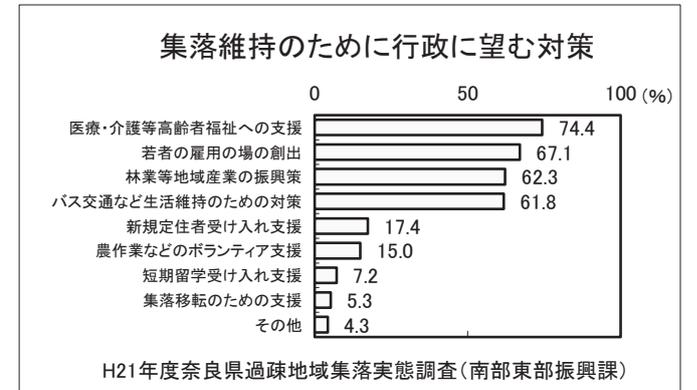
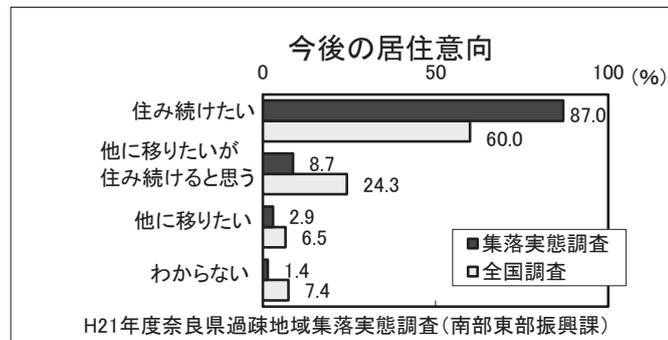
南部地域・東部地域では中和地域への通勤の割合が高くなっています。この地域の活性化のためには、中和地域における雇用の創出が重要な課題です。

かつて南部地域・東部地域の基幹産業であった林業は衰退傾向です。素材生産量も林業産出額も、ともに減少傾向ですが、奈良県林業・木材産業振興プランの策定等の取組により改善されつつあります。



生活環境について、10年前と比較して「良くなった」または「どちらかといえば良くなった」と回答する割合が上記の項目において50%を超え、全国調査より高い割合となっています。中でも「県庁所在都市等へ向かう道路」「高速インターネット接続環境」「高齢者福祉サービス」等の項目については、全国調査の割合を大幅に上回っています。

「バスや鉄道等公共交通機関」「雇用の場の確保」について「悪くなった」または「どちらかといえば悪くなった」と回答する割合が50%を超え、全国調査よりも高い割合になっています。



奈良県の過疎地域に暮らす住民は、その地域に「住み続けたい」という意識が非常に強く、全国調査の割合を上回っています。

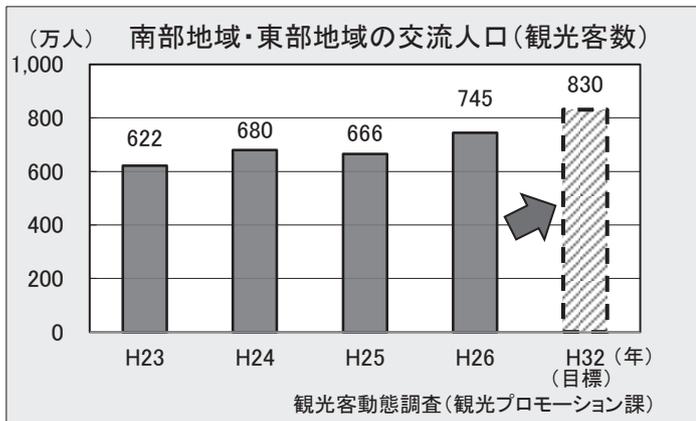
集落を維持していくための対策として、「医療・介護等高齢者福祉への支援」「若者の雇用の場の創出」「林業等地域産業の振興策」「バス交通等生活維持のための対策」に高いニーズがあります。

### 3. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略1 南部地域・東部地域での交流を促進します。

主担当課(長)名 南部東部振興課長 北村 辰治

戦略目標	①特色ある観光基盤の整備を推進し、南部地域・東部地域の魅力を向上させます。 ②観光客数を増やすとともに南部地域・東部地域のファンを増やすため、情報発信を強化します。 ③観光客数を増やすため、オフシーズンのイベント開催や、おもてなしの向上等を進めます。
------	---



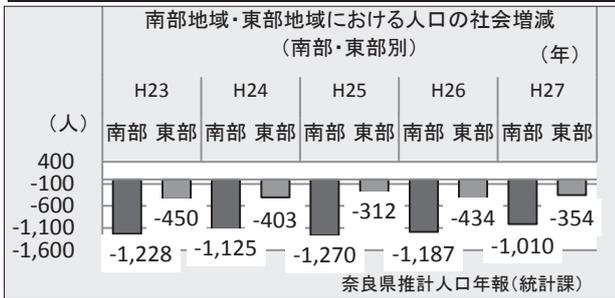
取組	観光資源となる地域資源の発見・創出や情報の発信、また、訪れてもらうための地域の特色を活かしたイベント開催等に取り組みました。(①,②,③)
成果	平成26年の南部地域・東部地域における交流人口(観光客数)は、南部地域485万人、東部地域260万人、合計745万人でした。また、宿泊客数は南部地域44万人、東部地域14万人、合計58万人でした。

主な取組指標等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	担当課名
観光資源となる地域資源の発見と創出(①)				
南部・東部振興プロジェクト検討事業件数(件)	4	3	2	南部東部振興課
広域的な自転車利用ネットワークにおける案内誘導及び注意喚起サイン整備率(%) [累計]	66	78	83	道路環境課
自転車の屋内保管や自動車搬送サービス等が可能な「サイクリストにやさしい宿」認定宿数(件) [累計]	55	58	58	道路環境課
秋季休日における自転車周遊者数(台/日)(計測箇所:10カ所)	5,054	5,715	5,089	道路環境課
南部地域・東部地域の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信(②)				
WEBや雑誌スマートフォンを活用した南部・東部観光情報の発信件数(件)	19	20	20	移住・交流推進室
インターネットや雑誌、イベント等による情報発信件数(件)(「弘法大師の道」の魅力発掘)	4	4	4	移住・交流推進室
実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり(③)				
うだ・アニマルパークへの年間入場者数(人)	181,830	214,910	237,870	うだ・アニマルパーク振興室

#### これまでの成果

- ・吉野山から高野山までを舞台にしたトレイルランニングレース「Kobo Trail 2015」を平成27年5月に開催し、167名の参加者がありました。(①,②)
- ・路線バス運賃キャッシュバックキャンペーンを平成27年度に実施した結果、利用者数が延べ16,007人、宿泊者数が対平成26年度比22%増の182,125人となりました。(③)
- ・奥大和地域の活性化を目指し、「奥大和ゆうゆう祭」を平成27年10月に開催し、約20,000人の来場者がありました。(③)

戦略目標	①働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致等を進めます。 ②健康・医療・福祉・介護の充実等を進め、地域で「住みたい」「住みやすい」と思う人の割合を増やします。 ③災害による死者をなくす・人命を守ることを最大の目標に、できる限り被害を減少させます。 ④南部地域・東部地域への二地域移住・移住者を増加させます。
------	--



取組	二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくりと拠点整備、また、移住者の働く場の確保に取り組みました。(①,②,③,④)
成果	平成27年の南部地域・東部地域における人口の社会増減は、南部地域で1,010人減、東部地域で354人減と、南部地域・東部地域ともに平成26年より減少数が減りました。

主な取組指標等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	担当課名
<b>働く場所づくり(①)</b>				
「奈良の柿」販売額(百万円)	3,762	3,665	3,247	農業水産振興課
県産材利用住宅への助成件数(件)	52	70	252	奈良の木ブランド課
<b>暮らしやすい地域づくり(②)</b>				
野生鳥獣被害防止対策としてのニホンジカの捕獲数(頭)	6,927	8,105	8,086	農業水産振興課
医師確保修学資金貸与者数(人)[累計]	90	99	107	医師・看護師確保対策室
認知症サポーター養成講座の修了者数(南部地域・東部地域)(人)[累計]	3,210	4,317	4,774	地域包括ケア推進室
県から運行経費の助成を受けるバス系統数(県補助対象)(系統)	30	26	25	地域交通課
過疎地域における通院バスの輸送人員数(人)	2,459	2,592	2,773	地域交通課
<b>災害に強いインフラの整備(③)</b>				
完了宣言箇所の供用箇所数(南部地域・東部地域)(カ所)	—	3	11	道路建設課
先行的保全施設(避難所や要援護者関連施設)への土砂災害対策着手率(%)	75	75	89	砂防・災害対策課
単独処理浄化槽数(吉野川流域)(基)	4,544	4,481	4,433	環境政策課
<b>移住の推進(④)</b>				
農家民宿認定件数(件)[累計]	24	25	26	移住・交流推進室
空き家バンク設置市町村数(市町村)	12	12	12	移住・交流推進室
ワンストップ窓口設置市町村数(市町村)	—	19	19	移住・交流推進室
移住者「職」と「住」の拠点整備支援事業件数(件)	—	2	5	移住・交流推進室
ふるさと創生協力隊員の配置人数(人)	—	—	3	南部東部振興課

**これまでの成果**

- ・県と奥大和地域19市町村が移住・定住施策を協働で取り組むため、奥大和移住・定住連携協議会を平成27年9月に設立しました。また、空き家や廃校等を活用した移住・交流体験施設5カ所の整備を支援しました。(④)
- ・五條新宮道路(国道168号)は、平成28年3月に川津道路が完成供用、辻堂バイパスが部分供用しました。(③)
- ・川上村において、移住希望者向けに住まいと仕事をセットで紹介する「仕事と住まいのワンセットプロジェクト」を支援しました。(④)

#### 4. 平成29年度に向けた課題の明確化

**<政策目標達成に向けた進捗状況>**  
 ・平成26年の南部地域・東部地域の交流人口(観光客数)は745万人と、平成25年より増加しました。  
 ・平成27年の南部地域・東部地域の人口の社会増減は1,364人減と、平成26年より減少数が減りました。  
 ・自分の住んでいる地域の活気や魅力に対する満足度は、全体的に平成26年度をやや下回りました。(H27年度県民アンケート調査<5段階評価> 中部2.71、東部2.36、南東部2.26、南西部2.33、県全体2.62)

**<戦略目標達成に向けた進捗状況>**  
 ・平成26年の南部地域・東部地域における交流人口(観光客数)は、南部地域485万人、東部地域260万人、合計745万人でした。また、宿泊客数は南部地域44万人、東部地域14万人、合計58万人でした。  
 ・平成27年の南部地域・東部地域における人口の社会増減は、南部地域で1,010人減、東部地域で354人減と、南部地域・東部地域ともに平成26年より減少数が減りました。

**<奈良県への追い風>**  
 a 国の経済政策による景気回復傾向  
 b 国による国土強靱化の推進  
 c 「住みたい」「住み続けたい」意識の高さ  
 d 多様なライフスタイル指向の高まり(ニーズが高いもの)  
 ・医療・介護等高齢者福祉への支援  
 ・若者の雇用の場の創出  
 ・林業等地域産業の振興  
 ・バス交通等生活維持のための対策  
 e 国による地方創生の動き  
 f 京奈和自動車道御所南IC～五條北ICの平成28年度供用予定

**<奈良県への向かい風>**  
 g 人口減少、労働人口の減少  
 h 企業の生産拠点の海外移転  
 i 食品や木材の輸入品の増加

**<奈良県の持っている強み>**  
 1 豊かな自然環境、おいしい空気や水  
 2 豊かな森林資源、吉野材ブランド  
 3 地域の住民の絆が強い  
 4 世界遺産をはじめとする豊富な歴史・観光資源  
 (「紀伊山地の霊場と参詣道」H16年7月登録)  
 (「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」H19年1月暫定リスト登録)  
 5 京奈和自動車道の供用区間延伸  
 6 情報通信基盤の充実  
 7 南部・東部の魅力浸透等による観光入込客数の回復

**<奈良県の抱えている弱み>**  
 8 産業用地の不足  
 9 人口減少と高齢化による活力低下  
 10 若者の就業の場の不足  
 11 農林業等地域産業の衰退  
 12 医師の確保が困難  
 13 路線バスの休廃止・減便の進行  
 14 日常生活サービスの脆弱化

**<<強みで追い風を活かす課題>>**  
**[重要課題]**観光交流の促進(地域の魅力の発信)(1,4,5,6,7,a,c,e)

**<<弱みを踏まえ追い風を活かす課題>>**  
**[重要課題]**移住の推進(9,10,11,c)  
**[重要課題]**医療・高齢者支援(12,13,14,c,d)  
 ・紀伊半島アンカールートの早期整備(8,14,b,c,f)  
 ・教育・子育ての支援(9,c)  
 ・公共交通の確保(13,c,d)  
**[重要課題]**住民が安心して暮らせる基盤整備(13,14,c,d)

**<<強みで向かい風を克服する課題>>**  
**[重要課題]**地域資源の活用(地域の魅力の発見、創造)(1,2,3,4,7,g,i)

**<<弱みを踏まえ向かい風に備える課題>>**  
**[重要課題]**企業立地の促進(8,g,h)  
**[重要課題]**農林業等地域産業の振興(11,g,i)

## 5. 平成26年度の評価を踏まえ、平成28年度に向けて見直した課題、取組

見直した課題	見直した取組方針、見直した内容
移住の推進(戦略2)	平成28年4月から、移住者等の交流拠点等の場を創出するため、奥大和移住定住交流センター「engawa」を橿原総合庁舎内に設置し、専門相談員による移住や空き家相談等にも対応することとしました。

## 6. 重要課題についての今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
観光交流の促進(地域の魅力の発信)(戦略1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地域・東部地域活性化イベントを開催します。</li> <li>・旅行雑誌や旅行サイト等の多様な広報媒体を活用し、首都圏や関西圏等に向けた観光情報の発信を強化します。</li> <li>・地域資源を活かしたスポーツや各種イベントを開催します。</li> <li>・宿泊者を対象に路線バス運賃の補助、また、学生が行う合宿を支援します。</li> <li>・うだアニマルパークを拠点とした取組を推進します。</li> <li>・「吉野・高野・熊野の国」関係3県が連携した取組を推進します。</li> </ul>
弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
移住の推進(戦略2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者の情報交換及び交流の拠点として奥大和移住定住交流センター「engawa」に相談員を配置し、移住・定住相談等を実施します。</li> <li>・奥大和移住・定住連携協議会にて移住情報の発信や移住体験に関する取組を推進します。</li> <li>・市町村での取組(広報、イベント、ワンストップ窓口、空き家バンク)を支援します。</li> <li>・移住、二地域居住のための拠点整備を支援します。</li> <li>・移住者・二地域居住者のための起業や受入体制整備を支援します。</li> </ul>
医療・高齢者支援(戦略2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等が地域で安心して住み続けることができるようにするため、医療・介護等が連携した地域包括ケアシステムの構築を推進します。</li> <li>・県独自のドクターヘリの導入を進めます。</li> <li>・南和地域の救急医療、災害対策医療、住宅・へき地医療の中核病院として、新たに開院した南奈良総合医療センターの運営を支援します。</li> <li>・医師の確保が困難な特定診療科等やへき地医療機関に勤務する医師の養成・確保を図るための修学資金の貸与及びキャリア形成支援を行います。</li> </ul>
住民が安心して暮らせる基盤整備(戦略2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路防災対策及び土砂災害対策を推進します。</li> <li>・市町村の住民避難対策の支援等、災害時の安心・安全を確保します。</li> <li>・県内外からの支援を受け入れて、迅速に対応できる広域防災拠点の整備に向けた取組を推進します。</li> </ul>
強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
地域資源の活用(地域の魅力の発見、創造)(戦略1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食」と「泊」を売り出すオーベルジュ等の整備を促進し、それらのネットワーク化を推進します。</li> <li>・奈良県植栽計画に基づき、南部地域・東部地域の自然環境や森林資源を生かした「庭」を整備します。</li> <li>・地域資源を活かしたスポーツや各種イベント等を開催します。</li> <li>・南部地域・東部地域の自然環境等を活かしたスポーツイベントや特色を活かしたイベントの開催を支援します。</li> </ul>
弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
企業立地の促進(戦略2)	<p>京奈和自動車道御所IC周辺に新たな産業用地を造成するほか、五條北IC周辺で分譲中の工業団地、また郡山下つ道ジャンクション供用開始により利便性がさらに高まってきた名阪国道周辺等、南部地域・東部地域への企業立地を促進します。</p>
農林業等地域産業の振興(戦略2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柿等の農産物等のブランド化・生産拡大による流通販売の強化を進めます。</li> <li>・奈良県にゆかりの深い漢方について、生薬の生産拡大や関連する商品・サービスの創出等を総合的に推進します。</li> <li>・A・B・C材ごとに受け入れる製材・加工施設の確保と、それぞれの流通体制の構築を図ります。</li> <li>・木質バイオマスエネルギーの利活用の拡大を図ります。</li> <li>・鳥獣被害を軽減し、捕獲野生獣を有効活用します。</li> <li>・在宅ビジネスやテレワーク等を希望する未就業者を掘り起こし、セミナーの開催や相談窓口の設置等、在宅での起業の支援を行います。</li> </ul>